

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

※平成 29 年 12 月 29 日(金)～平成 30 年 1 月 3 日(水) 年末年始休館

通常投映時間・内容(10 月～12 月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
ほしふるよるに	太陽系の惑星	月の仲間たち
ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～	星と海に抱かれて アジアヒーリング
ほしのおはなし(星空解説)	星空解説 ※12/9(土)「親子プラネタリウム」は 別内容となります。	星空解説

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
高校生以上 1 名無料

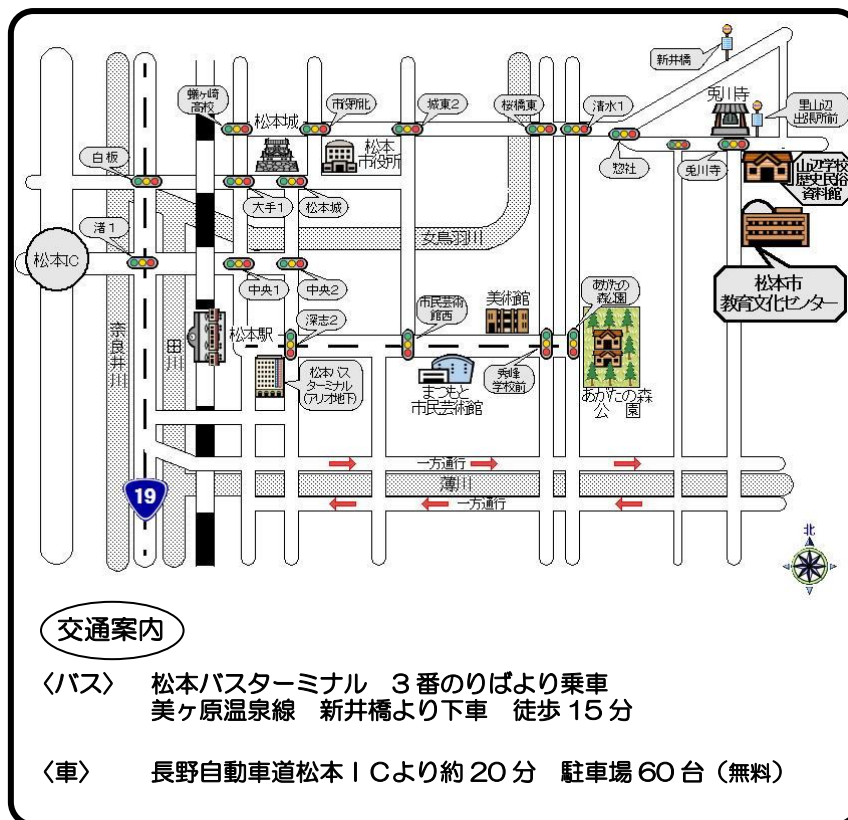
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604

E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

星空クイズ! (ふたご座編)

ふたご座のモデルとなった
双子の兄の名は?

- ①ペテルギウス ②リゲル
③ポルクス ④カストル

1/14/24/25

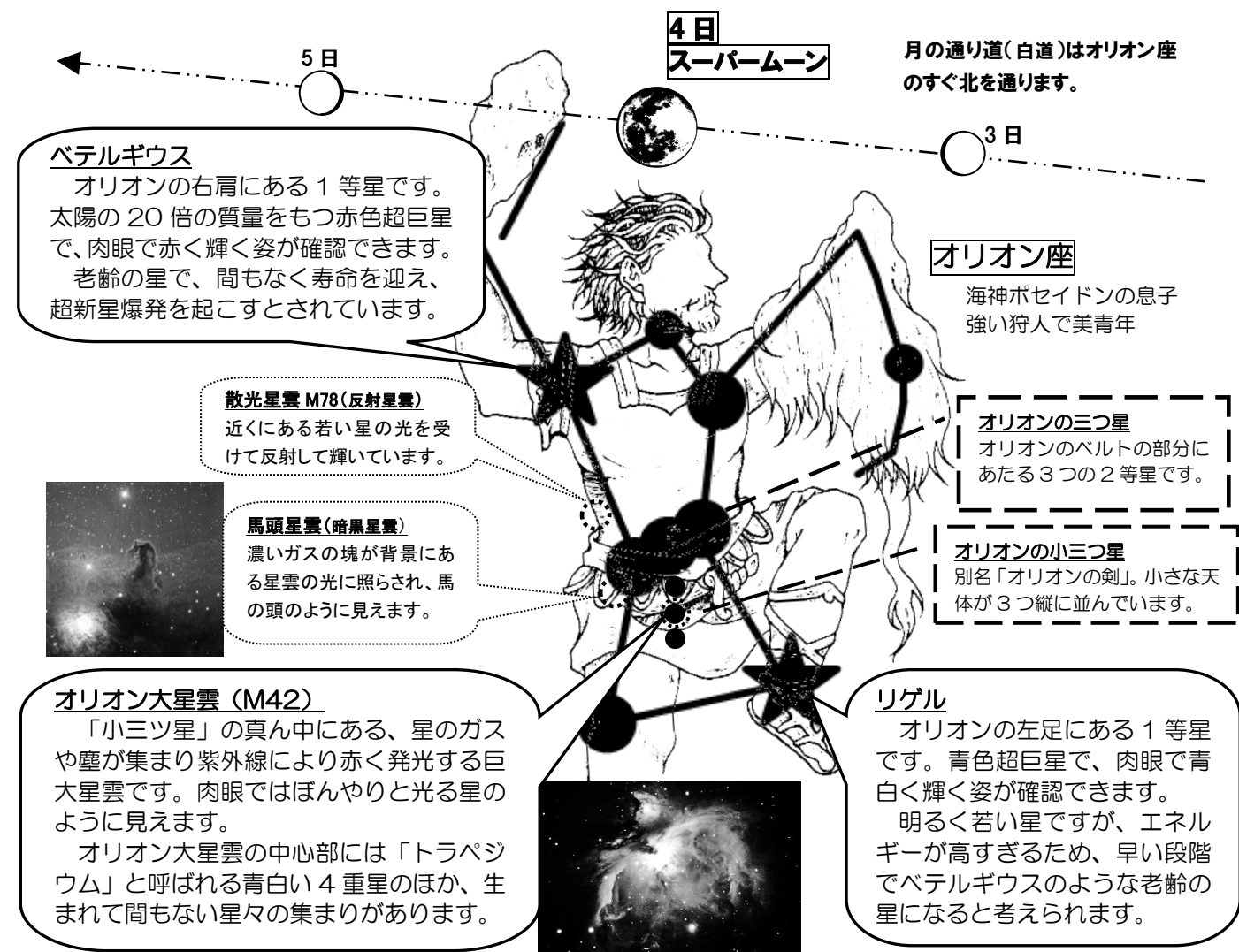
☆ 教育文化センター プラネタリウム通信

ほしみる

No.54 2017.12.1

スーパームーンの夜に

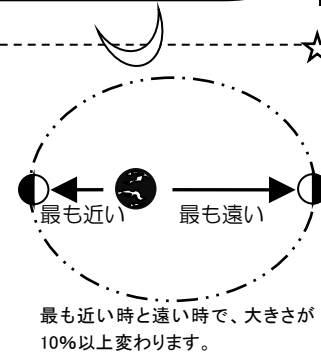
12 月 4 日の満月は、今年 1 番大きい満月「スーパームーン」です。冬の満月がオリオン座のそばで輝く様子は、勇者オリオンと月の女神アルテミスが寄り添う姿に似ています。



スーパームーン

その年で月が地球に最も近づいた時に迎える満月、もしくは新月を「スーパームーン」と言います。

月は地球の周りを楕円の形を描くように公転するため、地球との距離が周期的に近づいたり遠ざかったりします。最も近づく周期に重なる満月は、地球から見ると通常よりもひと際大きく見えます。



オリオンとアルテミス

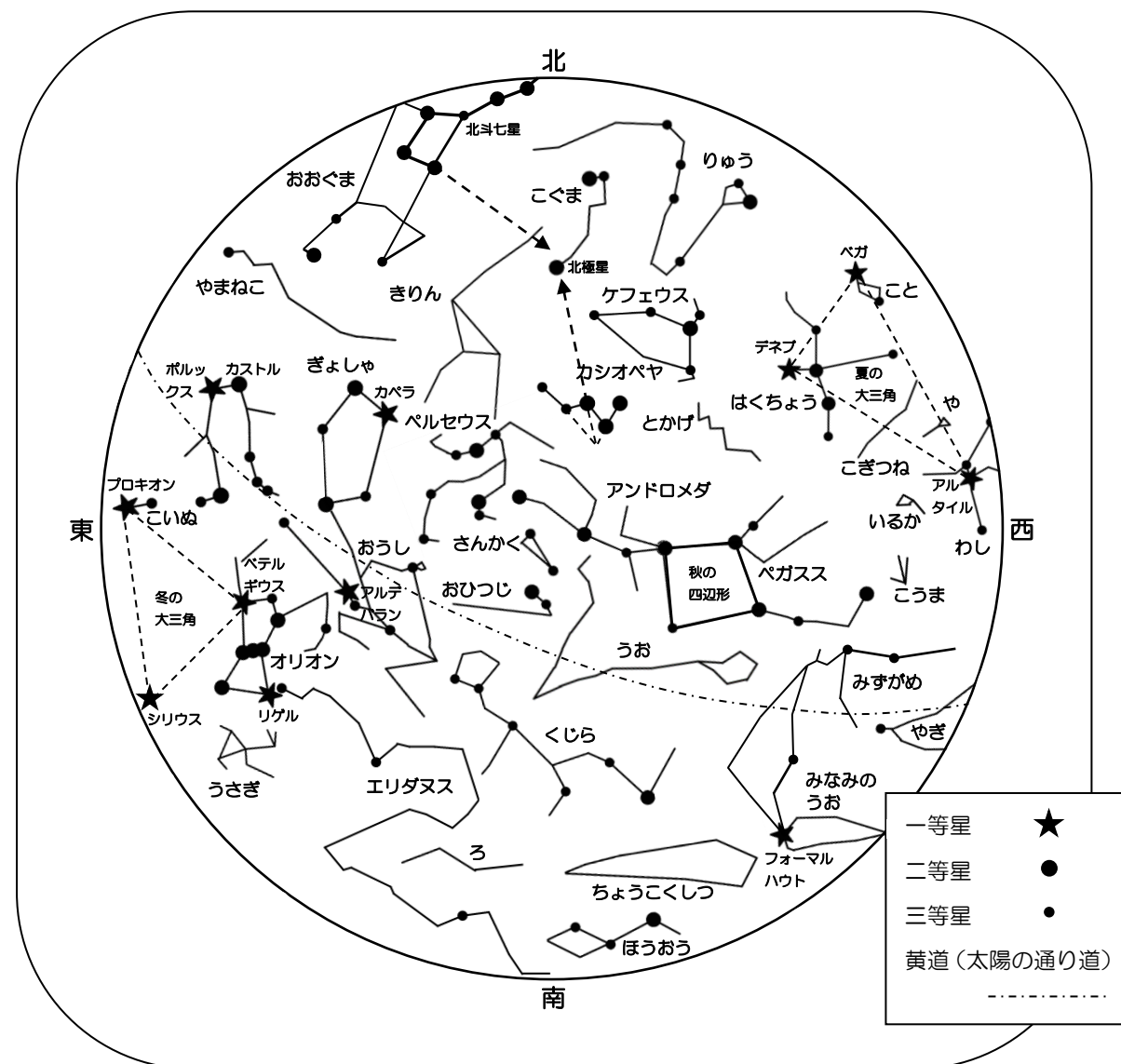
オリオンは、亡くなった後に星座となります。死の理由についてはさまざまなお話がありますが、その中の 1 つが月と狩りの女神アルテミスとの悲恋です。

お互いに狩りの名人であったオリオンとアルテミスはいつしか恋に落ちますが、アルテミスの兄である太陽の神アポロンは、人間で野蛮なオリオンと妹が恋に落ちるのを快く思わず、アルテミスにだましてその弓でオリオンを射殺させます。

アルテミスは悲しみ、大神ゼウスに頼みオリオンを星座にしてもらいました。そして、銀の車に乗り夜空を走る通り道(白道)の途中で、オリオンとの再会を喜んでいるそうです。

季節の星空

12月15日20時頃の松本の星空



12月の主な天文情報

4(月) 満月(スーパームーン)

14(木) 細い月と火星が接近(日の出直前)

ふたご座流星群が極大(月明かりが少なく好条件)

15(金) 細い月と木星が接近(日の出直前)

18(月) 新月

22(金) 冬至

極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。

冬至について

黄道(太陽の通り道)上で、春分点(黄道の始まる点)から4分の3(270度)の場所に太陽が来る時を「冬至」と言います。日の出・日の入りの位置が最も南寄りになるため、太陽の高度が最も低く、昼間の時間が1年のうちで最も短くなります。

日の出の時間が最も遅く、日の入りの時間が最も早い日と思われがちですが、実際には、日の出が最も遅いのは1月の上旬、日の入りは11月末～12月上旬となります。

また、1年で最も寒いとも思われがちですが、太陽で温暖された地面や空気は冷えるまでに約1～2か月ほどかかるため、実際に最も寒くなるのは1月下旬～2月中旬です。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

12/9(土) ☆親子プラネタリウム 13:30～

親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。
今回は、市民ボランティアの方々による手づくり切り絵「シンデレラ」を投映します。

申し込み不要。当日先着 90 人

12/24(日) ☆太陽観測 9:00～10:15

天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。
専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。

(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)

受付開始:12/17(日) 8:30～

定員:15 人(小学生以上。小学生の方は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

どちらが兄か？弟か？

11月に続き、12月にも注目すべき流星群があります。三大流星群の1つである「ふたご座流星群」です。

ふたご座流星群は、同じく三大流星群の1つである8月の「ペルセウス座流星群」と同様に、毎年安定して多くの流星を見ることができます。多い時で1時間あたり40個程度の流星を観察できるそうです。ペルセウス座流星群と比べて光り方がおとなしめで派手さはないものの、ふたご座が上がる時間が20時頃と早いため、ほぼ一晩中出现し、観察しやすいのが特徴です。

今年の出現期間は12月5日～18日で、極大時刻は14日15時と昼間になります。その時間に近い14日夜～15日3時頃までが観望の好機となります。放射点は2等星カストルの近くにあります。

カストルと1等星ポルックスの名前は、それぞれギリシャ神話に登場する双子からとられています。大神ゼウスと人間の王妃レダの間から生まれ、兄のカストルは馬術の達人で人間の血を濃く継ぎ、弟のポルックスはボクシングの名手で神の血を濃く継ぎ不死身でした。争いでカストルが先に亡くなった後、1人残されたポルックスはカストルの側にいることを強く望み、ゼウスと一緒に星座にしてもらったそうです。

明るさが控えめで、先に地上から上ってくる白い星が兄のカストルとなります。

